

お客様各位

アセリオ 静注液 1000mg バッグ

小児への過量投与について

2023 年 1 月
テルモ株式会社

弊社のアセトアミノフェン静注液「アセリオ静注液 1000mg バッグ」（以下、本剤）にて、小児に対して過量投与する事例が報告されております。

日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業の報告書¹⁻²⁾では、「指示の誤認：mg と mL の見間違い」として、本剤の指示量 60mg を見間違え 60mL (600mg) と 10 倍量が投与された事例等が示されております。

また単一施設からの報告³⁾では、発生状況の分析として、すでに報告のある mg と mL という単位の誤認に加え、指示量以上の用量を輸液ポンプに設定し結果的に指示量以上が投与されてしまった事例、2 歳未満の幼児に対して 2 歳以上の幼児の用量が投与された事例が示されています。

小児へ投与する際は過量投与に留意し、電子添文を参照の上ご使用頂きますよう、お願い申し上げます。

アセリオ静注液 1000mg バッグ 電子添文 2023 年 1 月改訂(第 2 版)

GS1 バーコード



6. 用法及び用量(抜粋)

下記のとおり本剤を15分かけて静脈内投与すること。

〈2歳以上の幼児及び小児における疼痛及び発熱〉

通常、2歳以上の幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10～15mgを15分かけて静脈内投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。

〈乳児及び2歳未満の幼児における疼痛及び発熱〉

通常、乳児及び2歳未満の幼児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回7.5mgを15分かけて静脈内投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として30mg/kgを限度とする。

7. 用法及び用量に関連する注意(抜粋)

7.2 乳児、幼児及び小児の1回投与量の目安は下記のとおりである。

体重	1 回投与量の目安
5kg	3.75mL
10kg	7.5～15mL
20kg	20～30mL
30kg	30～45mL

7.3 乳児、幼児及び小児に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

文献

1. 日本医療機能評価機構医療事故防止事業部. 医療事故情報収集等事業第55回報告書 (2018年7月～9月)
2. 日本医療機能評価機構医療事故防止事業部. 医療事故情報収集等事業第70回報告書 (2022年4月～6月)
3. 土金真人、壺井伯彦、西村奈穂、他. 小児周産期専門施設における静注アセトアミノフェン過量投与10例の検討. 日集中医誌 2021;28:547-8.